



安順市研修員は交流ボランティアの方々と秋芳洞、山口市内を散策し交流を深めました。

## 「環境審議会」創立を表明

### JICA 草の根技術協力（地域提案型）「安順市における環境保全管理研修」

安順市で「宇部方式」をもとにした環境行政を推進し、安順市に適した環境管理体制を構築するため、2009年度から3ヵ年計画で貴州省、安順市から研修員を受け入れ「安順市における環境保全管理研修」を実施します。安順市が貴州省の環境行政モデル地区になることを目指しています。

2009年度は1年次として「宇部方式」の手法と精神について学ぶため、貴州省及び安順市から環境行政指導者7名を受け入れました。



## 豆知識

### ● 貴州省安順市とはどこ？

中国貴州省は中国内陸部に位置し中国でも最貧困の省です。安順市は省都貴陽市から90kmの距離にあります。安順市の面積は9267km<sup>2</sup>、人口は267万人です。そのうち少数民族が39%を占めます。2008年の国民総生産は169億元（日本円2300億円）でした。安順市は急速に経済発展をしており、観光資源を活かした観光立市を目指し、環境保全について高い目標を掲げています。

### ● 安順市の環境問題はなに？

2008年度に行った現地調査によると、安順市は宇部市と似た産業構造を有しており、局地的に汚染が激しく、施設の老朽化、管理不徹底のために環境事故が発生し、排出源制御、モニタリング体制、水質汚濁対策、産廃リサイクルなど、環境保全の強化が最重要課題となっています。このため、安順市に適した環境管理体制を整備し、環境汚染を改善するため、大気・水質・廃棄物の管理方法、危機管理マニュアル、モニタリング体制の習得が必要とされています。



貴州省の位置

■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
■ 期 間	平成21年11月3日～11月13日 11日間
■ 研 修 員	楊 正偉 貴州省環境保護庁 副庁長 彭 旻 貴州省環境保護庁 計画および汚染防止処 処長 柏 京 貴州省環境保護庁 渉外および対外経済科 科長 帥 开立 安順市人民政府 弁公室 副秘書長 張 明 安順市環境保護局 局長 劉 芝倫 安順市環境保護局 副局長 段 正才 安順市環境保護局 副科長
■ 研 修 先	宇部興産(株)、共英製鋼(株)、中国電力(株)新小野田発電所 (株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス、 山口大学工学部、宇部地区環境保全協議会、山口県、宇部市



## 開講式



宇部市長表敬訪問

## 研修風景

久保田市長より「宇部市の環境保全対策」の講義を受けました。



宇部市リサイクルプラザで廃棄物リサイクル対策を学びました。



宇部セメント工場でセメントキルンによる資源リサイクル設備を見学。



共英製鋼(株)で医療廃棄物のリサイクル設備を見学



山口大学で環境アセスメントについて受講しました。

## 閉講式



山口県環境保健センターでモニタリングシステムを習得しました。



JICA 中国センターの竹内次長より修了証書を受領しました。

## ファイナルレポート発表会

ファイナルレポート発表会で研修員は帰国後のアクションプランを表明しました。

### アクションプラン

安順市は貴州省の観光中心都市であり、いま百万人口観光都市を目標に進んでいます。安順市の空気質の優良率は100%に達し、飲用水源地の水質はⅡ類水質(\*)に達しています。空気質も水質も貴州省内9中心都市中一番良好です。

これを基礎にし、「宇部方式」と安順市の実際状況とを結びつけることにより、安順市における社会、経済と生態環境の調和のとれた発展を推進します。

1. 安順市人民政府に「宇部方式」と汚染管理対策を報告します。百万人口観光都市作りに新たな力を注ぎ、都市の持続的発展の基礎づくりを行います。
2. 安順市のテレビ局、放送局、新聞などのメディアを通じて、市民に今回の研修の成果を紹介します。特に「宇部方式」、「環境汚染対策」と「クリーン・コミュニティ」、「グリーン・スクール」と結合させ、市民・研究機関・企業を積極的に環境保全に参加させます。
3. 宇部市環境審議会のような組織を創立するよう働きかけます。「宇部方式」の安順市での運用を推進します。社会各界の人々に呼びかけ、環境問題の解決と循環型社会作りに努力します。
4. 貴州省環境保護庁は安順市の「宇部方式」の導入に対して関心を持ち、汚染問題の解決と生態環境都市の建設を指導します。

\* 水域を水質によりⅠ～劣Ⅴの6分類され、Ⅰ～Ⅲ類は飲用に適した水質

## アクションプラン発表



ファイナルレポートを発表する張さん。

# 「ラグーナエコ2センター」設立を表明

CLAIR 自治体国際協力促進事業（モデル事業）「フィリピン共和国サンタロサ市における『宇部方式』の精神を活かした環境改善システム研修事業（2年次）」

サンタロサ市の環境管理手法及び環境管理技術の改善に向け、宇部市の「宇部方式」による環境保全対策や市内企業の先進的な環境技術を学ぶため、2008年度には1年次研修として環境行政官2名の研修に引続き、2009年度には2年次研修として企業、大学の代表2名を研修員として受入れました。



## 豆知識

### ● サンタロサ市とはどこ？

サンタロサ市は、フィリピン共和国ルソン島南部に位置し、首都マニラから南に40kmのラグーナ湖に面した工業都市です。

### ● サンタロサ市の環境問題はなに？

近年急速な都市化・工業化の進展に伴い、車両の排気ガスによる大気汚染問題、またラグーナ湖の水質汚濁問題、水資源の枯渇問題、固体廃棄物による汚染問題等の環境汚染に直面しています。

- 研修実施主体 CLAIR（自治体国際化協会）、宇部市、宇部環境国際協力協会
- 期間 平成22年1月31日～2月16日 17日間
- 研修員 アセル B. ハビエル(フィリピン大学ロスパニョス校 准教授)  
ロネール D.R. アンダヤ(トヨタオートパーツ フィリピン セクションマネージャー)
- 研修先 宇部興産(株)、都市産業(株)、共英製鋼(株) 中国電力(株)新小野田発電所  
(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス、  
北九州市エコタウンセンター、日本環境安全事業(株)、(株)エヌエスウインドパワーひびき、  
宇部フロンティア大学、山口大学工学部、宇部地区環境保全協議会、宇部市

## 開講式



市長表敬訪問

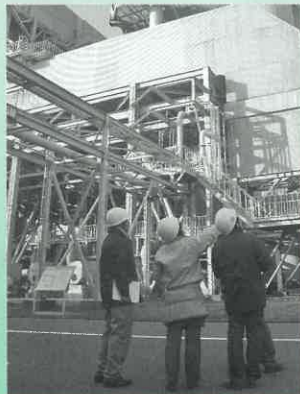


市民にカントリーレポートを  
発表しフィリピンの環境問題  
を説明しました。

## 研修風景



宇部市リサイクルプラザで  
宇部市の廃棄物・リサイク  
ル対策を習得しました。



中国電力(株)新小野田発電所でター  
ビン、発電機、廃水処理設備、排  
ガス処理設備を見学しました。



宇部市西部浄化センターを見学しました。



株式会社産業で産業廃棄物の処理方法を学びました。



北九州市エコタウンの(株)西日本オートリサイクルで自動車のリサイクル設備を見学しました。



宇部フロンティア大学で市民行政協働について学びました。

## 交流

## 閉講式



ホームステイ先のホストファミリーと角島を周遊しました。



約2週間の研修を終え、浮田理事長から修了証書を受領しました。

## ファイナルレポート発表会

## 「環境審議会」の設立計画

ファイナルレポート発表会で研修員は「環境審議会」の設立について帰国後の計画を表明しました。

### 帰国後の計画

初期段階では小規模なものから始め、最終的にはラグーナ経済地域関係者に拡大する計画です。

当面の計画：まずサンタロサ市行政から始め、ラグーナ経済地域へと拡大します。環境支援団体や組織を調査し協力の可能性のある人材から、適切な審議会委員を選びます。「審議会」には地域共同体として地方自治体や企業に対する権限や責任を持つという役割を確立します。

中期計画：サンタロサ市において廃棄物処理の国際シンポジウムを開催し「審議会」を発足させます。専門家、大学研究者及び審議会委員からなるチームを結成し環境状態調査を委任します。全ての産業と自治体とをネットワーク化します。

長期計画：リサイクル、廃棄物処理の共同施設を設立します。経済と環境を両立する「ラグーナエコ2センター」を設立し、自治体と企業により汚泥、廃プラスチック、産廃の処理を行います。既存の企業環境施設は環境保全企業として独立して運営します。



市民や関係者に対し研修の成果と帰国後の計画を発表する研修員

# 「宇部方式」を学ぶ (マレーシア青年)

## JICA 青年研修事業 (都市環境管理コース)

マレーシア各地の将来の国づくりを担う青年 16 名が環境行政分野の研修を受けました。研修では日本、宇部市の環境行政概要について学びました。さらに、宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により問題解決した経験や市内企業、大学等の環境保全技術を学び、幅広い環境保全対策・技術を習得しました。また、交流ボランティアとともに楊貴妃の里ウインドパークで風力発電所を視察し、萩市の松陰神社、東光寺で日本文化にふれることが出来ました。

■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
■ 期 間	平成21年11月26日～12月8日 13日間
■ 研 修 員	マレーシア共和国、16名
■ 研 修 先	環境省、山口大学工学部、宇部フロンティア大学、すみだ環境ふれあい館、東京都下水道局、TEPCO 新エネルギーパーク、宇部興産(株)、宇部地区環境保全協議会、共英製鋼(株)、宇部市

### 開講式



市長表敬訪問

### 研修風景



石炭記念館で宇部の炭鉱の歴史を学びました。



共英製鋼(株)で医療廃棄物のリサイクル処理工場を見学しました。



環境教育と実践活動の場である「アクトビレッジおの」を見学しました。



東京都有明水再生センターで下水処理水の高度水処理技術を学びました。



宇部市環境保全センターでごみ焼却場の計器室を見学しました。

### 交流



市民ボランティアとともに松蔭神社で日本文化にふれることができました。

### 閉講式



JICA 中国の竹内康人次長から修了証書が授与され、市民の祝福を受けました。

## その他研修員受け入れ



### 早稲田大学広東省佛山市南海区幹部職員研修

研修主体：早稲田大学

期 間：平成21年5月13日14日(2日間)

研 修 員：南海区幹部職員25名

研修視察先：宇部興産(株)、宇部市



### 平成21年度第1回「大気汚染源管理」地域別研修コース

研修主体：(財)北九州国際技術協力協会

期 間：平成21年11月5日(1日間)

研 修 員：モンゴル、エジプト、中国 5名

研修視察先：宇部興産(株)、宇部市

## 環境国際セミナーの開催

◇平成21年6月29日(月) (平成21年度総会後)

◇宇部市文化会館

共催：宇部市

演題：「世界は今、日本の技術で世界に貢献」

講師：山口大学国際戦略室副室長 教授 今津 武氏



## 環境保全技術講座



第1回 ◇平成21年10月2日(金)

◇宇部市文化会館

共催：宇部市

演題：「環境分野で活躍する高機能性セラミックスとその用途展開～省エネ化に役立つ新しいLED材料と光触媒による浄水技術～」

講師：宇部興産(株)研究開発本部 リサーチフェロー  
工学博士 石川 敏弘氏



第2回 ◇平成22年3月23日(火)

◇共英製鋼(株)見学

共催：宇部市

医療廃棄物処理工場および自動車シュレッダーダスト処理工場を見学しました。

●●●● 広報活動 ●●●●

平成21年度総会



虹ヶ浜アースデーでパネル展示をし、当協会の活動を紹介しました。  
(平成21年4月19日)



国際活動フェスティバル2010でパネル展示をし、参加者に当協会の活動を紹介しました。  
(平成22年1月17日)



平成21年6月29日(月)に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画が審議、承認されました。

交流ボランティアの活動



ホームステイ先のボランティアと岩国市錦帯橋を探訪したサントラ市研修員。



松陰神社でボランティアと交流するマレーシア研修員。

CLAIRサンタロサ市研修では休日に研修員と交流ボランティアの家庭にホームステイし日本家庭を理解しました。JICA安順市研修、JICA青年研修では交流ボランティアと一緒に山口県内各所を探訪し、交流するとともに日本文化、歴史を理解しました。

ボランティアのお願い



国際交流および技術支援のボランティアを募集しております。皆様方の事情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

<国際交流ボランティア>

海外から多数の研修員が、宇部市を訪れます。外国語（英語、スペイン語、中国語等）の会話が可能な方で、休日のホームステイ、市内外の案内等をしていただきます。

<技術支援ボランティア>

環境技術をお持ちの方で、海外研修員の受け入れのための研修コースの策定、研修員の受け入れ、途上国環境対策調査等をしていただきます。

会 / 員 / 募 / 集

現在の会員数

- 個人 300人
- 法人団体 75団体

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員 1口 1,000円(年額)
- ★法人団体 1口 10,000円(年額)
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘いをお願いします。

発行 宇部IECA  
事務所

宇部環境国際協力協会

〒755-0045  
山口県宇部市中央町3丁目12-19  
オフィス OHI 201

TEL・FAX (0836) 36-3199  
Eメール info@ieca.biz  
URL http://www.ieca.biz